



## 一柳谷中流砂防堰堤群 柳谷第33号砂防堰堤完成一



牛首川上流の柳谷は、溪岸の崩壊及び浸食が著しく、既にある砂防堰堤の多くは昭和初期に造られており、度重なる土石流出によってその一部が欠けるなどしています。

また、柳谷のすぐ下流には、白山登山の拠点となる別当出合があり、柳谷で大きな土石流が発生すると下流に被害が出る危険性があります。実際に平成16年には、柳谷のとなりの別当谷で土石流が発生し、別当出合のつり橋が流される被害が出ています。

このため、柳谷中流部において平成21年から4基の砂防堰堤（33号、34号、35号、36号）を整備しています。

今年、一番下流の第33号が完成しました。来年度からは、第33号から上流の砂防工事を予定しています。



工事を担当した  
(株)風組 山下 敏之 さん

工事の着手にあたり、まず現場を確認したところ、冬の大雪の影響か、施工箇所に入るための道路斜面が少し崩れていました。このため、すぐに工事に取り掛かることができず、まず道路斜面の対策を行うこととなりました。

これにより、本来の砂防堰堤工事を実施する期間が短くなってしまいましたが、全作業員が一丸となって作業体制を新たに整えました。そして安全対策を万全にしたうえで、複数箇所の同時施工などの創意工夫をすることで、無事降雪前に堰堤を完成させることができました。

# 白山砂防女性特派員の活動報告



イメージキャラクター  
サボちゃん

## 白山砂防女性特派員とは

白山砂防女性特派員は、人命と白山の自然を守る砂防事業の必要性を学び、次世代に伝えていくとともに、手取川流域に住む人々の交流と地域の活性化を女性の目線から行っていこうという目的で平成15年に設立されました。

メンバーは約20名、年間7～10回の砂防に関する活動に取り組んでいます。

白山砂防女性特派員は、平成27年度で13期生となります。

## 今年度の活動

今年度は、これまでに5回の活動があり、今年度の活動も残すところ2回となりました。2月の白峰雪だるままつりは特派員が毎年楽しみにしているイベントの一つです。

平成27年度 活動予定		
第1回	5/22	事務所概要及び砂防・地すべり事業について学習
第2回	6/1	土砂災害防止月間広報キャラバンでの広報活動
第3回	8/26,27	手取川源流域調査 兼 砂防事業現場見学（白山）
第4回	10/15	白山砂防スペシャルエンジニアとの意見交流
第5回	11/5	白山砂防以外の砂防事業見学（福井県アカタン砂防）
第6回	2月上旬	雪だるま作りを通して白山砂防のPR活動
第7回	2月中旬	平成27年度の活動のまとめ

## 今年度の活動の様子

今年度の主な活動の様子を紹介します！なお、各回の様子は白山砂防HPに掲載しています。  
白山砂防HP <http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/hakusansabo/>

### 『土砂災害防止月間広報キャラバン』



国土交通省と各都道府県では、毎年6月を「土砂災害防止月間」として、土砂災害の防止と被害の軽減を図るための各種活動を実施しています。



石川県が行う、土砂災害防止月間広報キャラバン隊に参加し、金沢市内での街頭広報活動や手取川流域の各行政機関を訪問し、防災広報の協力を呼びかけました。



『金沢市内で土砂災害防止月間のチラシを配る様子』

### 特派員の声



今回は『土砂災害防止月間』広報キャラバンの一日隊長をさせていただきました。石川県庁前で出発式。その後、香林坊で土砂災害防止月間のチラシを配りました。なかなか受け取ってくれません。ドキドキでした。

その後、白山市役所から鶴来、河内、鳥越、吉野谷、白峰など各支所を訪問し、土砂災害防止を伝えていきました。訪問したほとんど全ての機関で手取川上流の土砂崩れについての話がありました。土砂災害に対する危機管理の意識の高まりを感じて嬉しく思いました。

一日何ヶ所もまわり、家に着いたら自分でもこんなに疲れたのは久しぶり～と気がついたのです。

## 『福井県アカタン砂防堰堤群見学』



白山砂防女性特派員では、白山砂防以外に、他地域の特色ある砂防事業について学び、砂防事業への理解を深めています。



アカタン砂防堰堤群は、明治28年から30年にかけての大豪雨により被災した赤谷川において福井県の第一期砂防工事として築造されました。平成16年には文化庁の登録有形文化財に登録されています。



『奥の東砂防堰堤を見学中』

特派員の声



白山砂防については、これまでも見る機会はありましたが、他地域の砂防事業を見学するのは初めてだったので、大変興味深かったです。特に、遠くからではなく間近に見ることができ、感動しました。

明治28年から続いた豪雨により、赤谷川上流で発生した土石流によって村が消失したことをうけ、砂防工事が着手されたとのこと。100年前に村人総出で一つ一つ石を積み上げ、土盛りをして作り上げた堰堤は、今も立派に砂防の役目を果たしており、当時の緻密に計算された設計や技術のすごさを実感しました。

日本の国土の70%が山林であると昔に習いましたが、日本各地に砂防堰堤が作られているだろうと想像でき、また他の地域の砂防堰堤にも興味がわきました。

## 『白山砂防スペシャルエンジニアとの意見交流』



『HSSEとの意見交流』

白山砂防スペシャルエンジニア

(HSSE)とは、

- 白山の砂防事業に関する「啓蒙活動」
- 災害時の「支援活動」
- 砂防技術の「伝承」

これらの活動を行うことを目的として、平成27年3月に発足しました。会員は、砂防ボランティアに意欲のある国交通省OB技術者で構成されています。



『HSSE発足会議の様子』

特派員の声



以前に白山砂防スペシャルエンジニアの発足の記事を拝見していましたので、今回お話を聞く機会に恵まれ貴重な時間となりました。

白山の現場で長く過ごされている間に起った経験談を私たちにも分かり易くお話し頂きました。工事期間中の合宿生活や突然の災害を目の当たりにした時のこと、ふもと白峰の文化や食のこと、また砂防と芸術と真逆のふたつの融合などなど…。

とても興味深く、例年このような機会が設けられることを希望したいと思いました。

## 白山砂防女性特派員メンバー募集

白山砂防女性特派員は、毎年メンバーを募集しています。

- ・募集時期 2月中旬～下旬
- ・募集人数 20名程度
- ・募集条件 石川県在住、20歳～65歳、砂防に興味があり積極的に活動に参加できる方
- ・任期 1年間(4月～翌年3月)

次年度(平成28年度)のメンバー募集は平成28年2月中旬を予定しています。

◆ イベントの報告 ◆

## 「百万貫の岩」見学ツアーを開催しました

11月1日(日)白山・白峰温泉まつりにおいて「百万貫の岩」見学ツアー(午前・午後の2回)を開催し45名が参加し自然の力の脅威を実感しました。

まず白山砂防科学館で白山砂防の歴史や昭和9年の手取川大洪水についての説明を聞き、手取川大洪水の大きな爪痕である「百万貫の岩」を実際に見学に行きました。

菜さい前広場



まつり会場からバスで白山砂防科学館へ



白山砂防科学館



昭和9年の手取川大洪水の3Dシアターを見た後、白山砂防や手取川大洪水の説明を詳しく聞きました

土石流のすごまじさを物語る象徴だよ



車で約10分上流へ移動

県指定天然記念物「百万貫の岩」



白山公園線沿いの河川敷にある「百万貫の岩」を見学お天気にも恵まれ岩の近くまで行く事ができました。

◆百万貫の岩◆

昭和9年手取川大洪水に3キロ上流の宮谷から流れ出たとされる岩  
高さ16m、幅23m、重さは129万貫、約4839t  
あると推定される

◆ イベントのお知らせ ◆

## 雪だるままつり 2016



### 白山砂防女性特派員が今年も雪だるまを作ります！

2月12日(金)白峰地区において雪だるままつりが開催され、当日は白山砂防女性特派員も参加します。平成18年から、今回で11回目の参加となります。白峰のどこに特派員の雪だるまがあるのか、探してみてください。

午後5時になると雪だるまのローソクに火が灯され、幻想的な景色が広がります。

ぜひ見に来てくださいね！



●雪だるままつりの詳しい情報については白峰観光協会にお問い合わせください。 ☎ (076) 259-2721

### 白山砂防科学館・見学のご案内

白山砂防科学館は自由に見学する事が出来ます。ご希望に応じ解説も致しますのでご相談下さい。団体見学の場合は前もってご予約下さい。詳しくは白山砂防科学館までお問い合わせ下さい。

#### 【問い合わせ先】

白山砂防科学館 入館無料(休館日:毎週木曜日)  
TEL 076-259-2990 FAX 076-259-2991

### ◆編集・発行◆

国土交通省金沢河川国道事務所  
流域対策課

〒920-6-8648

金沢市西念4丁目23番5号

TEL 076-264-9913

FAX 076-233-9612

Eメール kanazawa-ryutai@hrr.mlit.go.jp